

# みんな笑顔 ～いじめをなくそう～



いじめを防止  
するためには



## 安心できる家庭を

～いじめをしない子に育てるために～

子どもがよりよい人間関係をつくるためには安心できる家庭の中で育てられ、必要な心の栄養を十分もらっていることが大切です。

ありのままの自分を受け止めてもらえることによって、子どもに自分を大切に思う気持ち（自己肯定感）とともに、相手を思いやる気持ちが育ちます。



### ●子どもをまるごと受け止めましょう

お父さん、お母さんから「ありがとう」、「助かったわ」、「よかったね」、「がんばっているね」と言われるだけで、子ども自己肯定感はうんと強化されます。



### ●家族の中で親子が向き合える関係をつくりましょう

家族で過ごす時間を大切にしましょう。

いじめやつらいことでも安心して家族に話せる雰囲気を作りましょう。短時間でも子どもの話を聞く時間をつくりましょう。



### ●子どもの自主性を大切にしましょう

好奇心をもって遊んだり、自分から目標を見出し、工夫して乗り越えるなどの経験のなかで、自主性や積極性が育っていきます。

### ●ものごとの善し悪しはきちんと教えましょう

いじめは、人の尊厳を傷つける、絶対にしてはいけない行為であること。



いじめを早く発見  
するために

## 子どもの見守りを

子どもは、いじめられていても「心配かけたくない」などという理由から、親に話さないことがあります。気になることがあれば、学校に子どもの様子を尋ねてみましょう。

特に思春期に当たる小学校高学年から中学校にかけての時期は、仲間うちでいじめ被害にあっても親に話さないことがあります。親に話さないから大丈夫と捉えるのではなく、子どもが発信するいじめのサインに気付けるよう、日ごろからわが子の様子を見守りましょう。



クラス替えなどの環境の変化や休み明けは特に注意が必要です

「あれ？」  
もしかしてと  
思ったら・・・



- 子どもにとって良き相談相手になってあげましょう。気持ちを受け入れてあげることが大切です。
- ようすがおかしくても、問いつめたり、結論を急いだりしないようにしましょう。
- 何があっても「守り抜く」「必ず助ける」ことを真剣に伝えましょう。
- いじめている人が悪く、いじめられている人は悪くないと伝えましょう。
- 子どもに次のことは言わないようにしましょう。「無視なさい」「大したことではない」「あなたにも悪いところがある」「いじめられるほうが悪い」「弱いからいじめられる」

**ご家族だけで悩まずに、心配なことは学校に相談しましょう。**

## スマートフォンやネットでのトラブル防止のために

近年、SNSで誹謗中傷等を行った事例や、騙されて下着姿や裸の写真を撮影して送信する等の児童ポルノ禁止法に関する事例が報告されており、子どもたちがインターネット上の犯罪等の被害や加害者にならないようにするなど、適切な指導が必要となっています。

トラブルが起こってしまう前に「これはやってダメ！」と立ち止まり、適切な行動がとれるよう、日頃からご家庭で、お子様の安全を第一にインターネットやスマートフォンなどの使い方を話し合ってください。



個人情報、「書かない」「教えない」「画像、映像に注意する」

わいせつ画像・動画は、「撮らない」「撮らせない」「渡さない」

人をバカにしたり傷つけたりするような書き込みをしない

見る人に不快感を与えるものを送らない



### 【参考文献】

- ・可児市いじめ防止パンフレット
- ・いじめのサイン発見シート（文部科学省）
- ・情報モラル啓発リーフレット「ちょっと待って！スマホ時代の君たちへ～スマホやネットばかりになっていない？2021版」（文部科学省）
- ・SNS利用のトラブル事例（岐阜県警察本部少年課）

### 【発行】

令和3年4月 羽島郡二町教育委員会  
いじめ防止パンフレット（保護者用）

### いじめ問題などのおもな相談窓口

#### ○子どもSOS24

☎ 0120-0-78310

（365日 24時間）

携帯電話からでもつながります

#### ○岐阜県教育相談ほほえみダイヤル

☎ 0120-745-070

（月～金曜日 9:30～16:15）

携帯電話からはつながりません